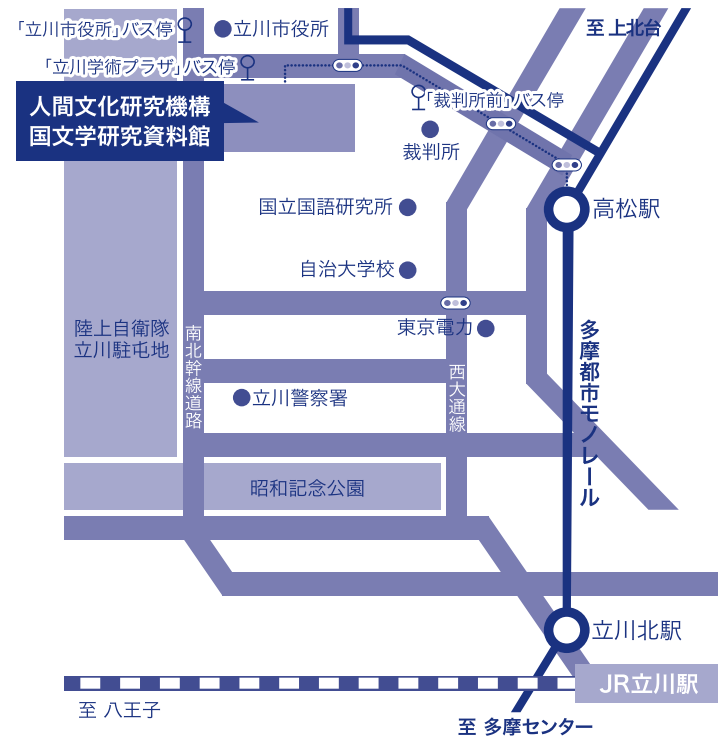


国際日本文学研究集会 会場

案内図



交通のご案内

多摩モノレール利用の場合

JR立川駅下車、多摩モノレール「立川北駅」にて乗り換え、
「高松」駅下車、徒歩10分

立川バスの場合

JR立川駅北口2番乗り場乗車、「立川学術プラザ」バス停下車、徒歩1分
JR立川駅北口1番乗り場乗車、「立川市役所」バス停下車、徒歩3分
JR立川駅北口2番乗り場乗車、「裁判所前」バス停下車、徒歩5分

徒歩の場合

JR立川駅下車、徒歩約25分

自動車利用の場合

中央自動車道「国立府中IC」から約15分 ※無料駐車場あり

第36回

The 36th International Conference on Japanese Literature
National Institute of Japanese Literature
Tokyo, 17th~18th, Nov. 2012

国際日本文学研究集会

「再生の文学—日本文学は何を発信できるか—」

主催 人間文化研究機構 国文学研究資料館

案 内

1. と き 平成24年11月17日(土)～11月18日(日)
2. と こ ろ 人間文化研究機構 国文学研究資料館大会議室
3. 用 語 日本語
4. 研究発表会
参 加 費 無料(「会議録」送付希望者のみ1部500円を申し受けます。)
5. レセプション
参 加 費 学生1,000円、他一般2,000円(当日受付) レセプション参加希望者のみ
6. 参加申込締切 平成24年10月26日(金)
7. 参加申込方法 申込書に①氏名 ②住所 ③レセプション参加の有無
を記して、E-mail・郵送・FAXのいずれかの方法でお申し込みください。
(当日受付も可能ですが、なるべく前もってお申し込み下さい。)
8. 連 絡 先 〒190-0014 東京都立川市緑町10-3
国文学研究資料館
国際日本文学研究集会事務局
TEL 050-5533-2911・2912 FAX 042-526-8604
E-mail: icjl@nijl.ac.jp
9. そ の 他 参加を申し込まれた方には、研究発表・講演の要旨をお送りします。
また当館ホームページ(<http://www.nijl.ac.jp/>)に、
研究発表・講演の要旨を掲載しておりますのでご参照ください。



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 〒190-0014 東京都立川市緑町10-3
国文学研究資料館 TEL: 050-5533-2911・2912 FAX: 042-526-8604
E-mail: icjl@nijl.ac.jp <http://www.nijl.ac.jp/>

第36回国際日本文学研究集会プログラム

「再生の文学－日本文学は何を発信できるか－」

平成24年11月17日[㊦]

平成24年11月18日[㊧]

受付開始		12:00～
総合司会	イリグチ アツシ 入口 敦志(国文学研究資料館助教) クニカワ ケイイチ 谷川 恵一(国文学研究資料館副館長)	13:00～
第1セッション 司会	イタサカ ノリコ 板坂 則子(専修大学教授)	
研究発表		
1 種彦合巻『曾我太夫染』における考証の方法 ―八つの注釈をめぐって―	キン ミツシ 金 美真(東京大学大学院博士課程)	13:10～13:40
2 『伽婢子』における典拠の再生 ―＜批判＞の独自性をめぐって―	ロ シュンイ 廬 俊偉(北京外国語大学大学院博士課程 国文学研究資料館外来研究員)	13:40～14:10
3 近世文学における楠正成伝説の再生―南北朝復興の物語への転換をめぐって―	リ チンホ 李 忠浩(高麗大学校非常勤講師)	14:10～14:40
休憩(10分)		14:40～14:50
第2セッション 司会	アオ タ スミ 青田 寿美(国文学研究資料館准教授)	
研究発表		
4 「一九二八年三月十五日」の「芸術的欠陥」について	ヤン ヒジン 梁 喜辰(中央大学大学院博士課程)	14:50～15:20
5 茂吉の再生	ササキ ヒサコ 佐々木比佐子(総合研究大学院大学博士課程)	15:20～15:50
6 志賀直哉『大津順吉』における「私」の心理	モインウッディン モ ハ ッ マ ド Moinuddin MOHAMMAD(大阪大学大学院博士課程)	15:50～16:20
休憩(10分)		16:20～16:30
ショートセッション 司会	アイ ダ ミツル 相田 満(国文学研究資料館准教授)①～③ ノ アミ マ リ コ 野網摩利子(国文学研究資料館助教)④～⑥	
1 九曜文庫本『源氏物語抄』と『水原抄』『千鳥抄』『珊瑚秘抄』	タリン カラ ー ヌ ヱ ッ ト Tarin CLANUWAT(早稲田大学大学院博士課程)	16:30～16:45
2 『狭衣物語』における身分意識 ―『源氏物語』との類似点と相違点、海外の研究での評価―	ミッシェル マイヤーズ Michelle MYERS(名古屋大学大学院博士課程)	16:45～17:00
3 中世文学の模倣やパロディの多面性 ―『とはずがたり』における『源氏物語』摂取をめぐって	ライサカタリーナポラスマー Raisa Katariina PORRASMAA(法政大学大学院研究生)	17:00～17:15
4 『太平記』『楊国忠事』段所引の『白氏文集』本文の系統と考察	カネ キ トシノリ 金本 利憲(明治大学専任助手)	17:15～17:30
5 平安朝女流文学における蛩の心象表現―恋心の動きと魂について―	ゲン シュケツ 巖 守潔(台湾大学修士課程)	17:30～17:45
6 日韓関係における『胡砂吹く風』の価値	ウンモョン 劉 銀炅(中央大学大学院博士課程)	17:45～18:00
事務連絡・会場移動		18:00～
レセプション		18:20～19:20

受付開始		9:30～
総合司会	ウン ノ ケイスケ 海野 圭介(国文学研究資料館准教授)	
第3セッション 司会	ナカガワ シゲ ミ 中川 成美(立命館大学教授)	
研究発表		
7 深沢七郎作品における「前近代」の再生―『檀山節考』と『甲州子守唄』を中心として	コウ エン 高 艶(東京外国語大学大学院博士課程)	10:30～11:00
8 描写が再生する日本の風土	ミナミ アス カ 南 明日香(相模女子大学教授)	11:00～11:30
9 廃墟と再生：田山花袋の関東大震災	トイ イ アレックス Bates ALEX(ディキンソン大学助教授)	11:30～12:00
休憩(120分) 昼食・ポスターセッション		12:00～14:00
第4セッション 司会	サカモト ノブユキ 坂本 信道(京都女子大学教授)	
研究発表		
10 平安朝漢詩の展開―『新撰万葉集』漢詩と道真詩に詠まれた蜘蛛の糸	リョウ セイ 梁 青(名古屋大学大学院博士課程)	14:00～14:30
11 『看聞御記』に再生した「をかし」美意識としての「殊勝」	アダム ベドゥナルチク Adam BEDNARCZYK(ニコラウス・コペルニクス大学准教授)	14:30～15:00
12 他者という規制装置―『源氏物語』を題材に	サギヤマ イク コ 鷺山 郁子(フィレンツェ大学教授)	15:00～15:30
休憩(10分)		15:30～15:40
公開講演		
「たけくらべ」自筆草稿を開く ―樋口一葉〈書くこと〉の領域―	ト マツ イズミ 戸松 泉(相模女子大学教授)	15:40～16:55
総括		16:55～17:05
ポスターセッション 11月17日(土)～18日(日)	(18日 12:00～14:00 発表者による説明あり)	
● 大江健三郎『治療塔』における死と再生―「3.11」という“未来の経験”	ナム フィジョン 南 徹貞(東京外国語大学大学院博士課程)	
● 長谷川如是閑にみる「笑い」―戯曲『大臣候補』を中心に―	オ グ ボリ リ サ 小田切 璃紗(東洋大学大学院博士課程)	
● 『諸艶大鑑』における世伝の人物造型についての検討―世伝は色道の「二代目」たり得るか―	ミズカミ ユウスケ 水上 雄亮(武蔵高等学校中学校専任教諭)	
● 井上靖シルクロード詩集における言語指向―素朴的、始源的、直接的な指向をめぐって	コ イリョウ 顧 偉良(弘前学院大学教授)	
● 日本文化の精神性と枳形本についての一考察―『おくのほそ道』の造本を出発点として―	ニシ イオリ 西 いおり(京都産業大学益川塾研究員)	
● 『潮騒』における「婿選び」―説話主題と共同体神話の再生	ヨ ショウショウ 余 筱秋(東京外国語大学大学院博士課程)	

研究展示「江戸の「表現」―浮世絵・文学・芸能」

特別展示「樋口一葉「たけくらべ」自筆原稿展」同時開催